



クラブ 会報

CLUB BULLETIN (WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 1934.6.9

承認 1934.6.27

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 247711

会長 嶺岸光吉
幹事 佐藤村徳男
会報委員長 川小池海正
西佐藤 一昇

No., 1098 1981. 3. 10 (火) (時々雪) No., 36

ビジター紹介

金子勝見君(私学教育) - 余目R.C
八幡慶二君(建築) - 鶴岡西R.C

◆ ゲスト紹介

交換学生 ジェームス君

会長報告

嶺岸光吉君

◎会員野村敏行君が4月1日付で東京本社にご榮転になります。2年9ヶ月の間ご友情いただきましたが、この度退会することになります。次回17日の例会でご挨拶があると思います。

◎米山奨学生エテバリ君は、3月19日12時34分発いなほ4号で帰国の途につかれます。ご都合のつく方、日頃親しくされた方は是非お見送り願います。

TAKE TIME TO SERVE

時間を捧げよう 奉仕のために

- ◎去る5月3日鶴岡地区消防事務組合に於いて、鶴岡市・江戸川区友好都市交流推進委員会設立総会が開催されました。荘内日報や市広報等でご承知のことと思いますが、戦時中の学童疎開が機縁となり、鶴岡市と江戸川区との友好交流をはかる為、自治体同志だけでなく、市民・区民挙げての友情の輪を揚げ交流をはかる事を決議致しました。盟約式は5月24日、25日頃の予定のようです。尚、会長には風間慶三君が推選されました。
- ◎5月3日～5月5日まで第253地区のR.Y.L.A研修会開催の案内
地域社会奉仕活動の青年男女2名以上、インターアクト、ローターアクトメンバーも含む、交換学生も参加歓迎。開催地 山形市蔵王温泉体育館

幹 事 報 告

佐 藤 衛 君

- ◎会報到着—東京R.C、鹿児島西R.C
- ◎例会時間変更—温海R.C 3月16日の例会を12時より 於 荘内銀行温海支店
- ◎認証状伝達式—第253地区 小高R.C 5月16日(土)
- ◎エテバリ君住所
E. ETEBARI, IRAN, RASHT, KOCHISEFHAN, BELESEBENE

委 員 会 報 告

ロータリー情報委員会

ロータリー情報委員会からフォーラムとファイアサイドミーティングのご案内を申し上げます。

日程は3月17日火曜日、会場は産業会館に於て午後4時30分より新会員の方々のご入会の歓迎を兼ねまして肩の凝らないフォーラムを開催致したいと思っております。フォーラムのモデレーターにはクラブ奉仕委員長さんの中江さんをお願い致しました。

前の例会にプログラムをお渡し申し上げましたようにフォーラムテーマは2題になって居りますが(A)の方はS.A.A、プログラム、会長さん、幹事さん等に(B)の方はロータリー情報、会報、雑誌、広報等各委員会さん中心にお話しをお願い致したいと考えて居ります。

新しい会員の方々はなるだけ早くクラブになじんで戴き、先輩会員も多数ご参加ご激励下さるようお願い申し上げます。

◆ 会 員 ス ピ ー チ

私 の 時 事 放 談

内 山 喜 一 君

先月下旬、上野さんから何か軟い話をとの要請があり、私はこの軟い話なるものが最も苦手です、さて、どうしたものかと案じました。丁度今年は“国際障害者年”と云う歴史的な年に当たりますので、この手の話なら私にピッタリ、最も得意とする処。これに決定と思ったのですが、ロータリーは、その職業を通しての奉仕を目的の一つに数えてありますので、此処はやはり職業に因んだお話、これが一番不難かと存じ、題して“最近の週刊誌から”というテーマに急抛変更させて頂いた次第です。

時に近頃、話題になっておりますビニール本、誠にいかがわしい雑誌であり

まして、先頃遂に、その筋の手入れとなったようです。少々惜しい気も致しますが、或いは当然であったかも知れません。と申しますのは、相当に良識の向きにまで影響を及ぼしておる様子でした。

処で、それにも増して劣らぬ位に底力を発揮して参りましたのが週刊誌であります。特に最近その殆どが、表紙から数頁に亘るグラビア版、その内容なるものは、季節を超えて真夏、盛夏の候と云う処です。それは、それなりの美女群の裸像である事は言を待ちません。この季節をわきまえぬ失礼極まりない群像は、呆れると云う外に表現のしようもありません。

先頃、ある出版社の方が見えた折、次のような質問を致しました。

「一般に出版物の値上がりは、それなりの理由もあり、判らぬではないが、週刊誌の値上げだけは少々理解に苦しむ。何故なればあのグラビアを見る限りに於いて、例えば、モデルが豪華な衣裳を纏い、如何にも芸術的唆に富んだポーズで、と云うのなら、それなりの評価も出来るが、最近のグラビアのそれは、評価以前の問題だ。あれは全く、生まれたままのスタイルでしかない。あんな金のかからぬ、金のかげようのないネタで、それを、そのまま掲載して、値上げと云う、そこが判らぬ、納得出来ない」

と申しました処、その答えに曰く、

「お説でございますが、あの生まれたままの姿になって頂くために、一見、豪華に見える衣裳より以上にお金がかかるのです」との返事。

私は、この返事に今迄の私の価値感、時代感覚は、いったいどうなって仕舞ったのかと、しばし自問自答した次第ですが、これは、これ以上考えても判らぬ事の一つとして、今後追求、詮索せぬ事に致しましたので、これで、第一話を終らせて頂きます。

次いで第二話

戦後も35年余りになりました。現代の若い人達、一部特殊な方々を除かせて頂き、一般的に脚長・長身のスタイルが標準のようです。戦前の日本人の体型からは、想像も出来ない変化といえます。

ある説によりますと、「歴史的に人間の体型は、数百年の年月を経て、親から子、子から孫へと世代を交代して、少しずつ変わっていくもの、それが自然の姿であろう」と、ありました。それがなんと日本の場合、戦後35年余り、世代にして略一世代を経ただけで、これだけの変わりよう、これは全く驚異です。この驚異に値する現象は何か、此処が問題とする処です。この問題を解明するには、ある有名な著書と、私の週刊誌の読み過ぎと知識とを駆使致しまして、この難問に取り組んだ次第です。

処で、この驚異的現象の要因の一つに、願望、願い、望む、と云う想念の作用が大きく影響していると考えられるのであります。人間は＝かくありたい＝と思っていると、そうなって来ると云います。＝背が高くなりたいたい＝と、常に思っていると、本当に高くなる。胸を大きくしたい、美しくなりたいたい、と常に思い心がけていると、そうなって来るそうです。

其処で仮に「優秀なる子孫に恵まれたい」とご希望する向きは、要するに公式で申し上げますと、その事の前段階に於いて、強力に願望望み心に深く念ずるのであります。併して、ご希望に沿うた子孫に恵まれると云う次第であります。脚長・長身、健康で頭脳明晰、女子ご希望の向きであれば、それに美貌を加えた念願でよろしかろうと存じます。

偕、此処に提唱致しました願望、願望むと云う言葉は、永遠不変の真理であります。良き子孫を得、繁栄のために大いに願望して下さい。併し既に、昭和一桁も少々疲れた年代と云われて居ります。勿論人にはそれぞれ個人差はあります。上原謙、彼などは特殊のケースでして、明治、大正の年代は時既に遅きの感があります。従って此処にご出席の過半数のお歴々には、余りご無理なさらぬ方が、よろしかろうと存じまして、一言申し添えまして、私の放談を終わらせて頂きます。

◆ 重ねてロータリーの道德律に就いて

早坂 源四郎君

去る2月24日のロータリー創立記念の例会スピーチの中で、道德律に就いて述べましたが、その後、行き違いR・Iより道德律に関する書信(2月13日付)が来まして、R・Iの考え方がはっきりしましたので、主要事項を次の通り抜粋して補足説明させて頂きます。

発信者は会長補佐 Executive Assistant to the President のケネス・スウィツァー氏で、昨年10月14日仙台で小生が提出したクレーリッヒ会長宛の道德律に関する要望書に対するR・I当局の回答文であります。因に私の要望書の主旨は、シカゴの規定審議会で採択され、本年1月より実施されているR・I細則第16条(道德律は本細則の改正について定められている方法以外では変更修正する事は出来ないとする規定)の削除に依り、ロータリーの道德律本体も消滅すると言う論もあるが(私、早坂はそう思わぬが)、この点に関してR・Iの明確な考え方を聞かせて欲しいと云うものです。

スウィツァー氏の書信で注目すべき事は

- (1) 書信には1981年度の新手続き要覧の道德律の項目のコピーが添付されていましたが、その中で新しい掲載記事として“1978年～79年のR・I理事会の決議として、ロータリーの道德律を修正してもその効果がないからロータリアン並びに各クラブへの配布は取り止める旨、決議して居りました”。これはサンフランシスコの規定審議会の刊行頒布の再開の要望を全く無視したものだと思えます。
- (2) また本書信の中で、R・I当局の考え方を明言されて居りました。
 - (イ) R・I細則第16条の削除により、各クラブは従来通り職業奉仕の指導理念として、ロータリーの道德律を従来通り引き続き使用する事も出来るし、また、
 - (ロ) 職業奉仕の実践上、各クラブは職業上の正しい基準を強調するため、必見且つ適当と思われる範囲内でこの道德律を改文、修正する事も出来る云々。

出席報告

本出	会 員 数	71名	欠	秋野君、池田(昭)君、皆川君、森田君、諸橋君、笹原君、佐藤(友)君、佐藤(元)君、鈴木(善)、鈴木(弥)君
日	出 席 数	61名	席	
の席	出 席 率	85.92%	者	
前出	前回出席率	87.50%	メ	風間君、本山君、手塚君一鶴岡西R・C 黒谷君一余目R・C
回	修正出席数	67名	リ	
の席	確定出席率	93.06%	ッ ク	